



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3583 2月25日(火)

● 本日の卓話

「人生を愉しくする言葉の力」

中野 律さん

● 次週の卓話

「古代豪族紀氏の研究」

紀 俊崇 会員

● 先週の例会記録

- ✦ロータリーソング 我等の生業
- ✦ビジター紹介 なし
- ✦出席報告 (会員数76名、免除会員1名)
本日出席(2/18) 52名 68.42%
- ✦メイキャップ 新宮へ2名、岸和田東へ6名、和南へ3名、
アゼリアへ3名、地区へ1名
- ✦S. A. A. (ニコニコ箱) 野井和重さん、松井良樹さん、塚本貞治さん、
野志幸生さん、中野智一さん、木綿紀文さん、
依岡善明さん、上園芳孝さん、岡野正樹さん、
川崎 悟さん、坂東信幸さん、有志一同

本日合計 ¥47,000 今年度累計額 ¥1,437,000

- (財団寄付献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、塚本貞治さん、野志幸生さん
- (米山奨学会献金箱) 野井和重さん、松井良樹さん、塚本貞治さん
- (青少年育成奨励金) 野井和重さん、松井良樹さん、塚本貞治さん

2月は平和構築と紛争予防月間です



誕生日お祝い

● 会長あいさつ

会長 野井 和重

【青少年育成奨励金】



みなさま青少年育成奨励金の事はご存じだと思いますが、兼田年度80周年から始まった事業ですが、延べ何名の方を支援してきたのかご存じでしょうか。なんと9年の間に70名を超える青少年に授与させていただきました。その中で初期のメンバーの中には今も現役で活躍している選手や、就業し頑張っている方がいるはずなのですが、追跡確認をしていなかったため、ほとんどわからなくなってしまっています。折角ご縁があり和歌山ロータリークラブと繋がってもらったわけですから、これからは彼らのその後にも注目していきたいと考えています。

和歌山ロータリークラブは地区大会において沢山の表彰を受けていますが、その大半はお金によるものです。こんな素晴らしい青少年奉仕活動をさせていただいているのですから、いつか地区からも認めていただけるようにしていきたいとも考えます。そしてクラブのメンバーも「今年はこんな素晴らしい選手を支援しているのだ!」と心に留めてもらえるような伝え方も必用かと思っています。いつか我々が支援した選手の中からオリンピック選手が出ることや、学業の方からは、官僚になられ重要な役職に就かれる、会社をおこされ上場する、大手会社の重要ポストにつかれるなど、考えるだけでもワクワクしますので、今後は継続おっかけをしていきたいと思っています。

最近のメンバーでは、ヨット(スナイプ級)の赤松佑香さんが全日本学生女子に優勝、アーチェリーの矢渡茜さんは韓国の大学で活躍中ですが、先日のナショナルチーム選考会で見事!チームジャパンのメンバーとなりました。学生時代水泳でご縁のあった武中香奈枝さんがトライアスロンに転向され世界が舞台の初レース・ワールドトライアスロンチャンピオンシップにおいてミックスリレー7位に入賞された等、これからも楽しみな方もいらっしゃると思います。

この支援も20歳を境に無くなってしまいう事もおっかけが出来ていない原因かと思っています。この辺りも今後の課題と認識しておりますので、今後とも「青少年育成奨励金」へのニコニコも、どうかよろしくをお願いします。



赤松佑香さん(後方)



赤松佑香さん(右)



矢渡 茜さん



武中香奈枝さん

会 長 報 告

- 新型コロナ対策サイン受付廃止について
- 和歌山南RC合同開催「4.5 市堀川清掃ウォーキング」及び「4.11(金) 夜間例会」への参加のお願い



ロータリー財団 認証(1/28ご欠席分)
川崎 悟 会員



ロータリー財団 認証 メジャードナーLevel 1
野志 幸生 会員

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ(和歌山北RC、那智勝浦RC)
- 本日、「次年度予定者会議」及び「次年度会長・幹事・S.A.Aを励ます会」開催
- 新型コロナ対策サイン受付廃止について
- 「和歌山南RC合同開催事業」及び「台湾板橋RC訪問」に関して、出欠報告依頼
- 4.11(金)和歌山南RC様との合同夜間例会開催に伴う、和歌山RC主催例会の変更・取消はありません。2024-25年度の例会総数は44回となります。
- 回覧:「水戸RC様週報」・「あさひ便り」・「ハイライトよねやま」・「青少年育成奨励金対象者近況」

委 員 会 報 告



次年度幹事予定者
垣本 英作 会員

次年度ロータリー手帳の申込みに関して
2月25日(火) 申込締切。
別途事務局よりメールにてご案内

卓 話

和歌山市の新年度予算



和歌山市長
尾花 正啓 さん

これまで、大学誘致や官民連携によるまちなかの活性化などを通じて地方創生の種を育てるとともに、健全で効率的な財政運営によって得られた財源で子育て支援や医療・介護の充実などに取り組んできました。今後さらに、市民のニーズを捉えながら、産業の発展や活力あるまちづくりによって地方経済の活性化と成長を勝ち取り、福祉の更なる充実や市民の生活環境の向上を実現していくため、令和7年度予算は、「**成長と福祉の好循環を形成する予算**」と位置付けて予算編成を行い、4つのまちの将来像の実現に向けた施策を展開します。

1つ目は、「**ふるさとで学び働けるまち**」です。人と企業の育成や企業誘致、観光や農水産業の稼ぐ力の向上など、産業の持続的な発展につながる取組を推進します。

2つ目は、「**県都として活力にあふれたまち**」です。中心市街地の更なる発展に向けた民間との共創の取組を進めるとともに、地域における拠点づくりと持続可能な交通ネットワークの形成を推進します。

3つ目は、「**子供たちがいきいきと育つまち**」です。子育て世帯への支援の充実と、子供たちの健やかな育ちを支える環境づくりを両輪で進めるとともに、教育環境の充実を図ります。

4つ目は、「**誰もが安心して暮らせる優しいまち**」です。防災対策や生活環境の向上を重点化するとともに、すべての市民が健康にいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。

「**きらり 輝く 元気和歌山市**」の実現に向け、人と地域が輝く未来を皆さまとともに創り上げていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。



(左)卓話ゲスト 和歌山市長 尾花正啓さん、野井会長